

令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等（鹿児島県公立学校）の状況について

令和6年10月30日

高校教育課学校教育生徒指導班

学校数：小学校 489 校，中学校 213 校，高等学校 71 校，特別支援学校 16 校 計 789 校

児童生徒数：小学校 85,614 人，中学校 43,406 人

高等学校 28,482 人（全日制 26,475 人 定時制 124 人 通信制 1,883 人）

特別支援学校 2,657 人 計 160,159 人（R5.5.1 現在 学校基本調査）

※ 義務教育学校は小学校，中学校にそれぞれ1校として計上

※ 高等学校は全日制，定時制，通信制をそれぞれ1校として計上

* 文部科学省が実施した「令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」を基に県で作成。

1 いじめの状況

＜いじめの認知件数＞

（単位：件）

校種 年度	鹿児島県（公立）					全国（国公立）		
	R 2	R 3	R 4	R 5	前年比較	R 4	R 5	前年比較
小学校	6,470 (72.8)	7,379 (83.9)	7,531 (86.5)	7,515 (87.8)	-16	551,944 (89.1)	588,930 (96.5)	+36,986
中学校	2,196 (51.5)	2,499 (57.8)	2,932 (67.6)	2,840 (65.4)	-92	111,404 (34.3)	122,703 (38.1)	+11,299
高等学校	482 (15.8)	350 (11.9)	310 (10.7)	299 (10.5)	-11	15,568 (4.9)	17,611 (5.5)	+2,043
特別支援学校	23 (9.6)	24 (9.6)	47 (18.1)	12 (4.5)	-35	3,032 (20.7)	3,324 (22.3)	+292
合計	9,171 (55.8)	10,252 (62.9)	10,820 (66.9)	10,666 (66.6)	-154	681,948 (53.3)	732,568 (57.9)	+50,620

※（ ）は1,000人当たりの認知件数（認知件数÷在籍児童生徒数×1,000）

※ 全国（公立）における1,000人当たりの認知件数は公表なし

- 1,000人当たりのいじめの認知件数は66.6件（前年度比0.3件減）であり，全国（国公立）では57.9件（前年度比4.6件増）である。
- いじめを認知した学校（いじめの認知件数が1件以上の学校）は79.6%（前年度比3.6ポイント減）であり，全国（公立）では86.6%（前年度比1.6ポイント増）である。
- いじめの解消率は75.8%（前年度比3.2ポイント減）であり，全国（公立）では77.4%（前年度比0.4ポイント増）である。
- いじめの発見のきっかけは，前年度同様「アンケート調査など学校の取組により発見した。」が最も多く50.2%，次に「本人からの訴え」18.0%，「学級担任が発見した」12.3%の順となっている。
- いじめの態様は，前年度同様「冷やかしかからかい，悪口や脅し文句，嫌なことを言われる。」が最も多く64.9%，次に「軽くぶつかられたり，遊ぶふりをしてたたかれたり，蹴られたりする。」22.1%，「仲間はずれ，集団による無視をされる。」11.9%の順となっている。なお，「パソコンや携帯電話等で，ひぼう・中傷や嫌なことをされる。」については2.7%（前年度比0.3ポイント減）であり，全国（公立）では3.3%（前年度比0.1ポイント減）である。
- いじめの重大事態発生件数は10件（1,000人当たり0.06件）であり，前年度より5件増加している。

2 不登校の状況

＜不登校児童生徒数＞

（単位：人）

校種 年度	鹿児島県（公立）					全国（公立）		
	R 2	R 3	R 4	R 5	前年比較	R 4	R 5	前年比較
小学校	595 (6.7)	833 (9.5)	1,240 (14.2)	1,610 (18.8)	+370	104,265 (17.2)	129,410 (21.6)	+25,145
中学校	1,671 (39.2)	2,153 (49.8)	2,503 (57.7)	2,960 (68.2)	+457	185,810 (62.7)	207,013 (70.4)	+21,203
高等学校	723 (25.1)	702 (25.3)	764 (28.2)	862 (32.4)	+98	44,395 (22.9)	50,075 (26.3)	+5,680
合計	2,989 (18.6)	3,688 (23.2)	4,507 (28.6)	5,432 (34.9)	+925	334,470 (30.4)	386,498 (35.7)	+52,028

※ 高等学校は通信制を除く

※（ ）は1,000人当たりの不登校児童生徒数（不登校児童生徒数÷在籍児童生徒数×1,000）

- 1,000人当たりの不登校児童生徒数は34.9人(前年度比6.3人増)であり、全国では35.7人(前年度比5.3人増)である。
- 不登校の主たる理由は校種別に見ると、以下のとおり。

〈小学校〉	・「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。」30.3%
	・「生活リズムの不調に関する相談があった。」29.8%
	・「不安・抑うつ等の相談があった。」22.4%
〈中学校〉	・「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。」30.3%
	・「不安・抑うつ等の相談があった。」22.0%
	・「生活リズムの不調に関する相談があった。」21.8%
〈高等学校〉	・「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった。」30.7%
	・「不安・抑うつ等の相談があった。」19.5%
	・「生活リズムの不調に関する相談があった。」18.9%

3 暴力行為の状況

〈暴力行為発生件数〉

(単位：件)

校種	年度	鹿児島県 (公立)					全国 (公立)		
		R 2	R 3	R 4	R 5	前年比較	R 4	R 5	前年比較
小学校		63 (0.7)	66 (0.8)	55 (0.6)	175 (2.0)	+120	59,933 (9.9)	68,143 (11.4)	+8,210
中学校		153 (3.6)	100 (2.3)	106 (2.4)	145 (3.3)	+39	28,473 (9.6)	32,161 (10.9)	+3,688
高等学校		56 (1.8)	42 (1.4)	32 (1.1)	72 (2.5)	+40	2,905 (1.5)	3,815 (1.9)	+910
合計		272 (1.7)	208 (1.3)	193 (1.2)	392 (2.5)	+199	91,311 (8.3)	104,119 (9.6)	+12,808

※ 暴力行為とは、「対教師暴力」、「生徒間暴力」、「対人暴力」、「器物損壊」を合わせた件数

※ () は1,000人当たりの発生件数(発生件数÷在籍児童生徒数×1,000)

- 1,000人当たりの暴力行為発生件数は2.5件(前年度比1.3件増)であり、全国では9.6件(前年度比1.3件増)である。
- 暴力行為を形態別に見ると、対教師暴力が49件(前年度比24件増)、生徒間暴力が275件(前年度比143件増)、対人暴力が5件(増減なし)、器物損壊が63件(前年度比32件増)である。

4 高等学校中途退学の状況

〈中途退学者数〉

(単位：人)

校種	年度	鹿児島県 (公立)					全国 (公立)		
		R 2	R 3	R 4	R 5	前年比較	R 4	R 5	前年比較
高等学校		215 (7.1)	160 (5.5)	233 (8.1)	227 (8.0)	-6	22,631 (11.3)	24,349 (12.4)	+1,718

※ () は1,000人当たりの中途退学者数(中途退学者数÷在籍生徒数×1,000)

- 1,000人当たりの中途退学者数は8.0人(前年度比0.1人減)であり、全国では12.4人(前年度比1.1人増)である。
- 退学の原因は「進路変更」が最も多く53.7%、次に「学校生活・学業不適応」33.0%、「病気・けが・死亡」4.0%となっている。

5 自殺の状況

〈自殺した児童生徒数〉

(単位：人)

校種	年度	鹿児島県 (公立)					全国 (公立)		
		R 2	R 3	R 4	R 5	前年比較	R 4	R 5	前年比較
小・中・高・特		5	3	10	2	-8	325	283	-42